



よっほつうしん



天童市立長岡小学校
 学校だより No.10
 令和5年1月11日
 校長 齊藤厚志

あけましておめでとうございます！！

～ 2023年・3学期もどうぞよろしくお願いたします！～

本日から令和4年度の3学期がスタートしました。新しい年を迎え、気持ちを新たに、47日間という短い3学期を充実した学期にしていきたいと考えております。そのために、始業式でも話をしましたが、これまでの「まとめ」と次のステージへの「準備」を子どもたちに意識させて取り組んでまいります。学校教育目標である『みんなが力のつく楽しい学校』にさらに近づけるよう、3学期も引き続き、本校学校教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

3学期始業式 児童代表の言葉

3学期の目標

6年 M. S さん

私の3学期の目標を3つ発表します。

1つ目は、学習面についてです。3学期前半は6年生の総復習に取り組みます。単元ごとに間違えた問題を1問1問振り返り、解けない問題をなくしていきます。算数や理科などの理系科目では、割合の計算と水溶液の性質、国語や社会などの文系教科では、読み解いたり覚えたりすることが苦手なので、何度も繰り返し復習していきます。後半では、中学校に向けた先取り学習を進めていきます。小学校6年間で学んだことが基礎となるので、自信をもって4月から中学校生活を送れるように、準備を始めたいです。

2つ目は、生活面についてです。私は、図書委員長として、図書室にたくさんの人が来てたくさんの本に触れてくれることを目標に、委員会活動に取り組んできました。1学期にはキャラクター募集、2学期には本のスタンプラリーを開催、3学期にも楽しめる企画を準備しています。それとともに、私が卒業した後も図書室が楽しい場所であるように、新委員長へ引き継ぐことも私の役目だと考えています。

3つ目は、自分自身についてです。小学校を卒業し、中学校に入学する節目は、自分に問いかけ向き合う時間です。将来の夢を叶えるために進むべき高校、大学に入学するには私に何が必要か探究していきます。そして、私が何より大切にしたいことは、長岡小学校での1日1日を大切に過ごしていくことです。先生方、全校生のみなさんとの毎日は、当たり前のように限られた時間です。児童会目標のように仲間を思い、明るく、元気に、楽しい思い出を残していきたいです。

3学期始業式 校長の話

～「まとめと準備」・「折り合いをつける」～

いよいよ、新しい年、2023年、令和5年がスタートしました。また、今年度の最後の学期、3学期も今日からスタートします。4月になると、6年生は中学生に、1年生から5年生は1つずつ学年が上がって、1年生は2年生に、3年生は4年生になります。そのために、これまでのまとめとして、今の自分、自分たちを常に見つめながら、改善を繰り返すとともに、次の新しいステージでの姿を具体的にイメージして、それに向かって着実に準備を進めていくことが必要です。ですから、3学期は、6年生にとっては、中学1年生の0学期、5年生にとっては、6年生の0学期、と言ったりもします。たった47日

しかない3学期、気持ちよく今年度をしめくくり、4月からよいスタートが切れるように全員が、「まとめと準備」、この2つを意識して学校生活を送っていきましょう。

ところで、毎年、「今年の漢字」というのが発表されていますが、昨年を表す漢字は、「戦（たたかい）（いくさ）（戦争の戦）」でした。サッカーワールドカップでの日本代表チームの熱い戦いがあったことなども理由として挙げられていますが、突然ロシアがウクライナに攻撃を仕掛けたり、北朝鮮が弾道ミサイルを度々発射したりしていることで、戦争が身近に感じられるようになったのが大きかったと思います。

このことに関わって、ある校長先生から、最近、とても興味深い話をお聞きしました。みなさんは「ドラえもん」を知っていますか。知らない人はほとんどいませんね。いつも「ドラえもん」に助けてもらってばかりいる「のび太」ですが、ある時、ご先祖様の代わりに、戦で手柄を立てなくてはいけなくなりました。それで、「正しい方の軍の味方をしなければ」という思いから、「ドラえもん」に聞いたのです。「どちらの軍が正しいの？」って。その質問に対して、「ドラえもん」は何て答えたかというと、『どっちも自分が正しいと思っているよ。戦争なんてそんなもんだよ。』そう答えたそうです。

漫画の世界の話ではありますが、この話をお聞きして、私は、どきっとしました。そして、まさしくこれが、戦争が起こる最も大きな原因だと思いました。また、戦争とは言えなくても、1・2学期、長岡小でもけっこう多かったけんかや人とのトラブルも、このようなことが原因の場合が多いなあとも思ったのです。みなさんには、思い当たることはありませんか。人は、生まれた場所や環境、生き立ち、これまでどう生きてきたか、などによって、一人一人違った考え方や感じ方をもっています。そして、自分と違う考え方や感じ方の人と接すると、それを間違っていると決めつけたり思い込んだりして、相手を攻撃してしまうことが多いのです。それは、自分が正しくて、相手は間違っているという思いが強いからです。でも、正しいか、間違っているか、それはその時の状況や立場の違いなどによっても変わってきます。絶対こうだと言い切ることはできません。自分が正しく、相手は間違っていると決めつけるのは、とても危険なことだと、私は思います。

この世の中から、戦争というものがなくなってほしい。平和な世の中になってほしい。また、長岡小からも、本当はしなくていいけんかやトラブルなどがなくなって、今まで以上に安心して楽しく過ごせる学校になってほしい、そう私は願っています。そのために、今、私たちができること。それは、自分とは違う考え方や感じ方をする人に対して、すぐ間違っていると否定したり攻撃したりするのではなく、まずは、少し冷静になって、お互いの考えや言いたいことに耳を傾けて、わかり合おうとすることではないでしょうか。そうすることによって、「そういうことだったのか」と相手の考えや気持ちがわかり、相手の心に寄り添えたり、時には自分が間違っていることに気づいたりすることもあります。そして、それぞれ、ちょっとずつ歩み寄ったり我慢したりして、自分と相手、両方にとって最もよい解決方法を見つける、それを「折り合いをつける」と言いますが、その「折り合いをつける」力を少しずつ少しずつ身につけていくことが、私たちが生きていくうえでとても大切なことではないか、と私は思います。

それでは、これから始まる3学期、「まとめと準備」、そして、この「折り合いをつける」ということを頭に置きながら、みんなの目標である「みんなが力のつく楽しい学校」にさらに近づけるよう、みんなの心をつなげて、いろいろなことに本気になって挑戦していきましょう。3学期もとても楽しみです。